

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

News Release

NTT東日本グループ

2023年8月30日

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部

おだわら SDGs パートナーとして、持続可能なまちづくりに貢献します

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部(執行役員 神奈川事業部長:相原 朋子、以下「NTT東日本 神奈川事業部」)は、小田原市(市長:守屋 輝彦)が SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組む企業・団体等を登録する制度である「おだわら SDGs パートナー」<*1>に登録されました。

今後は地域の価値創造企業「SOCIAL INNOVATION パートナー」として、地域をつなぐ取り組みを通じ、地域の皆様を全力でサポートしてまいります。

<*1> <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/sdgs/partner.html>



1. 取り組み背景

NTT 東日本グループでは、これまで光ファイバーを利用したブロードバンドアクセスサービスを提供する等、情報通信事業者として、高品質で安定した通信インフラの提供に加え、昨今では身近な ICT 企業として地域の課題解決や価値創造に取り組んでまいりました。

こうした取り組みを更に加速し、NTT 東日本グループすべてのステークホルダーの方々の共感を得ながら、地域のみなさまとともに持続可能な循環型の地域社会を実現していきたいという思いから、新たに「パーパス(存在意義)」を定義し、それに向けた「ビジョン(なりたい姿)」、「ミッション(使命)」、「バリュー(価値観と行動基準)」を制定しました。<*2>

私たち NTT 東日本グループは、この新たな NTT 東日本グループ「パーパス」のもと、地域のミライを支える価値創造事業を中心とした事業構造への転換を図り、地域社会のみなさまとともに、夢や希望を感じられる持続可能な循環型社会の共創をめざしてまいります。

<*2><https://www.ntt-east.co.jp/aboutus/purpose.html>

2. NTT 東日本 神奈川事業部における小田原エリアでの取り組み

(1) 小田原市との「若手交流会」< https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/pdf/20230810_01.pdf>

小田原市の将来都市像「世界が憧れるまち“小田原”」の実現に向けて、NTT東日本 神奈川事業部の若手社員と小田原市の若手職員による交流会を実施し、政策提言を目標に活動しています。



(2) 福島ひまわり里親プロジェクトへの参加

全国の 55 万人の里親さんが育ててくださった“ひまわり”を福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の『絆』を深めるプロジェクトです。この活動は、今では日本全国に広がり、たくさんの交流へとつながっています。



NTT 東日本は、2015 年から「福島ひまわり里親プロジェクト」への協力として「ひまわりの植え育て、種収穫」を実施しています。

(3) 「県立21世紀の森」で枝打ちボランティア活動

https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/detail/20230526_002.html

森林の豊かな恵みを次の世代に引き継ぐ「かながわ森林再生 50 年構想」の趣旨に賛同し、神奈川県とともに森林の再生に取り組む「森林再生パートナー制度」に 2022 年 7 月から参画しており、社員ボランティアによる枝打ち作業を定期的に行っています。



(4) CO2 削減に向けた取り組み

社員一人ひとりに SDGs アクション宣言をしてもらうと同時に、組織対抗企画である「CO2 削減ポイントラリー」を今年度も引き続き実施しています。この CO2 削減ポイントラリーは、社員ひとりひとりの CO2 削減行動実績をポイント化して、CO2 削減に向けた社員意識向上および効果的な行動促進を図ることを目的としています。

<実施項目例>

区分	CO2 削減に向けた実施項目
働き方	在宅勤務を実施
会社・日常生活	エレベーターやエスカレータの使用を控えてできるだけ階段を利用
地域	会社または地域における森林保全や生物多様性に関わるボランティア活動に参加

<参考>SDGs との関わり



・目標 11: 住み続けられるまちづくりを

「小田原市との若手交流会」「福島ひまわり里親プロジェクト」を通じて、地域のコミュニケーション活性化を促し、「だれも取り残さない・だれもが参加できる形の持続可能なまちづくり」に貢献していきます。



・目標 13: 気候変動に具体的な対策を

「枝打ち作業」「CO2 削減ポイントラリー」を通じて、二酸化炭素抑制等の環境負担軽減に貢献していきます。

3. 本件に関する報道機関からの問い合わせ・申込み先

NTT東日本 神奈川県事業部 企画部 広報担当 水谷、金石、徳丸

TEL: 045-226-6123 E-mail: kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp